令和 7 年度 2 月試験研究業務月報　　研　究

試験研究課題：獣害対策のための LPWA を活用した侵入感知装置の実証・普及

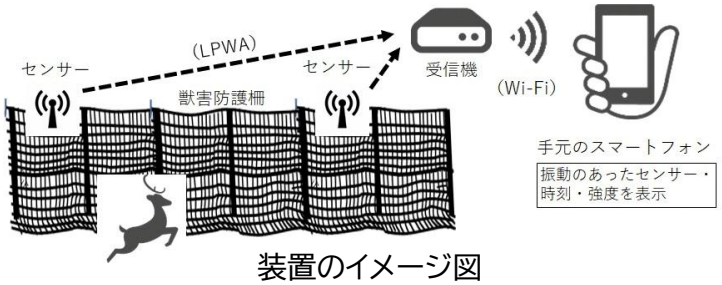
通信経費が不要の LPWA※を活用した獣害防護柵の侵入感知装置の実証

府内には、獣害対策の恒久的防護柵が 4 千 km 以上整備されています。当センターでは、柵の保守管理の労力を減らすため、侵入感知装置を開発し、実証試験を行っています。

この装置は、シカやイノシシが柵に侵入しようとする際の揺れをスマートフォン等に通知し、見回りや補修を促すもので、LPWA※通信により低コストで運用できます。

令和 6 年 11 月以降、実用機に近い装置を府内 4 箇所に順次設置して継続観察しています。その結果、シカやイノシシが侵入を試みた場合や感知区間外から侵入後に柵を揺らした場合に、装置が感知して通知されたことを確認し、現地の見回りを効率化できることが実証されました。

来年度は、補助事業を活用してこの装置の導入が始まります。農林センターは、装置の改良や技術的な助言等で、導入を支援していきます。



装置のイメージ図



柵に侵入を試みるイノシシ



感知区間外から侵入したシカ

※　LPWA：「低消費電力広域通信」Low Power Wide Area の略。省電力かつ広範囲での無線通信が可能な通信技術。通信速度は遅いが、運用コストは低い。

農 林 セ ン タ ー